

七夕を彩るさまざまなイベントを開催しました！！

7月の恒例行事といえば、七夕。今年度もいろいろな七夕事業を展開しました。もりんぴあの館内に入ると一際、目を引くのが1階から2階まで届くほど大きな笹竹。小さなお子さんから大人の方まで、たくさんの短冊にいろいろな願い事が書かれ吊るされました。かわいをお願いから、受験など真剣な願いまでさまざまな願い事が書かれていました。その吊るされたカラフルな短冊はまさに天の川のように見えました。3階のわんぱくルームにも笹竹を用意。そこには、覚えてたの平仮名のかわいい字で書かれた短冊が多かったです。みなさんの願いがかなうといいですね。書いて頂いた短冊は、職員がひとつひとつ外し、願い事がかなうようにお炊き上げを依頼しました。

6月15日には「七夕ワークショップ」が開催されました。今回で3回目となる七夕ワークショップは、吹き抜け部分の空間を利用したインスタレーションを作成する催し物。

毎年、同じ空間、同じ七夕という題材ながらも、まったく違った芸術性を醸し出しています。一昨年は、無数のカプセルを思い思いの色で塗り、ひもで吊るし星にみたくてました。昨年はキラキラテープに星の形に切り取った飾りや細いテープを張り付けて天の川をイメージしました。今年も千葉美術予備校の協力のもと、講師に本山ひろこさん、江澤佳世子さんをむかえ、この日集まった18人のこどもたちと作品作りに取り掛かりました。今年メイン材料は青・水色のオーガンジー布。その布にキラキラのラメ入りの絵の具で色を塗ったり、キラキラの紙ふぶきやシールを張り付けたりしました。中には「令和・平成」と書く子がおり、今年ならではのインスタレーションとなりました。

6月29日には、2階 MORI×MORI ホールで「もりんぴあ七夕コンサート2019」が行われました。

第1部では、「言ノ葉メロディ」と題して音楽と朗読で七夕コンサートの幕が開けました。オープニングは千葉稔さんのオカリナで「たなばたさま」オカリナの澄んだ音色が七夕の星空のイメージにマッチしていました。その後、境さなえさん、前田圭代さんのピアノ演奏をバックに安永暁美さんが金子みすゞや谷川俊太郎の詩を朗読しました。

第2部は樋口翔さんと原田秀道さんの2人からなるユニット「Diary」のコンサートが行われました。ボーカルとアコースティックギターの編成で、NHK連続テレビ小説「あさが来た」の主題歌で幅広い年代に知られている「365日の紙飛行機」のほか、日常の何気ないコマの感情や経験を曲にしたDiaryのオリジナル「空へ」や「家族の灯り」が演奏されました。終演後には、CDの即売会も行われ、彼らのメロディ、ハーモニーに感銘を受けたかたで列をなしていました。

織姫と彦星は1年に1回ですが、音楽や芸術のイベントは一期一会。これからも芸術家と観客の架け橋として、さまざまイベントを企画してまいります。



もりんぴあ名画座 長崎原爆投下日特別編

長崎に原爆が落とされた日の8月9日、もりんぴあ名画座が開催されました。はじめに「いわたくんちのおばあちゃん ～ぼく、戦争せんけえね～」が上映されました。この映画は広島にまつわる実話を基にした絵本をアニメ化したもの。写真嫌いのいわたくん(小学生)のおばあちゃん。その理由は戦争でした。なぜ写真が嫌いになったのか、おばあちゃんのことについて話を聞くうちに原爆や戦争のことを知り、自分の問題としてとらえ平和への決意をしていく小学生を描きました。

「いわたくんちのおばあちゃん」上映後、成田平和啓発推進協議会会長の石井武氏の挨拶に続いて「戦争体験者によるお話会」が始まりました。

1人目は、パラオ共和国で戦争を体験した岡山美奈子さん。ドイツの植民地で多くの日本人が住んでいたパラオ共和国での惨劇を語っていただきました。焼夷弾の雨と爆弾の大空襲。近くで焼夷弾が当たって亡くなった方がいたり、10センチほど離れたところに銃弾が飛んで来たりと壮絶な戦場を家族で逃げ回る様子を聞かせていただきました。

2人目は広島で被爆した木村美子さん。3歳でほとんど記憶がない中で、鮮明に覚えている被爆の瞬間や被爆後の浄光寺や東照宮をはじめとした広島市内の惨劇をイラストや写真を交えてお話していただきました。最後に戦争・原爆の悲惨さ、平和への願いを望まれ、お話会は終了しました。体験者の高齢化がすすみ、戦争体験者の生の声を聴くことが難しくなっている昨今、大変に有意義な催し物となりました。

午後には「火垂るの墓」が上映され、多くの方が鑑賞しました。

図書館だより

おはなして楽しいね!



7月26日に「杜のなつやすみおはなしかい」を開催しました。パネルシアター『すてきなぼうしやさん』、大型絵本『はっぱのおうち』、おはなし『こしおれすずめ』、大型絵本『ももたろう』のプログラムに、小さいお子さんから小学生、保護者など47人の参加者が笑ったり、手遊びをしたりして楽しみました。12月には、杜のふゆのおはなしかいも予定しています。どうぞお楽しみに!



図書館のおはなしでは、火曜日午後3時から月2回程度「杜のおはなしかい」を開催しています。是非、遊びに来てください。日程は、お気軽に図書館へお問合せください。

夏休みの思い出に各種講座を開催



夏休みを利用しての小学生向け講座が各種開催されました。8月2日には森永乳業の協力により「牛乳のひみつを探ろう」が行われました。牛乳と低脂肪牛乳を飲み比べて違いを感じ取ってもらったり、牛乳のなかま乳製品のこと

や賞味期限の説明、パッケージに隠されたひみつなど牛乳にまつわる知識を深めました。

8月8日には、講師にポリテクカレッジ成田の方をむかえ、「二連射輪ゴム銃を作ろう」が行われました。段ボールを材料に銃が作成され、最後には同じダンボールで作った的に向けて発射。威力や弾の飛んで行く方向を確認しました。



8月20日には、「夏休み こどもキッチンスタジオ」と題して、こどもでも簡単にできるお菓子作りを学びました。ホットケーキミックスを使っているの、難しい配合はありません。お家でも簡単に作れそうでした。

8月22日には、「オリジナルランタン作り」が行われました。講師は青松寛子さんです。耐熱のワックスペーパーに思い思いのイラストを描いたり、色とりどりのテープを張りつけ、個性豊かなオリジナルランタンカバーを作りました。中に、電池式ミニライトを使用しているの、安心して使用できます。

なかよしひろばだより

“作ってあそぼう 夏休み製作”が人気でした。

後半「木登りおさるさん」「登るロープウェー」毎月1回開催する“作ってあそぼう”を、8月は夏休みということもあり1ヶ月を通して行いました。材料はビニール袋、トイレットペーパー芯、ストローなど身近なものばかり。親子で簡単に作れるように材料を予め用意しておきました。前半は夏らしい「きんぎょさん」で涼しさを感じたり、ひろばの今月の歌に合わせた「フワフワおばけ」を揺らして楽しみました。後半の「木登りおさるさん」「登るロープウェー」は動きが面白く、何度もタコ糸を引っ張って楽しんでいました。製作の見本を見て「やってみたい」と作り始め、難しい所は大人に手伝ってもらいましたが、出来上がると満足げな表情で遊んでいました。その様子を見て周りの子どもたちも関心を持ち次々と作り始め、「作ってあそぼう」の輪が広がりました。赤ちゃんのママも楽しく作って、「家に飾ろう」と喜んで持って帰りました。作り方も簡単で毎日作れることもあり、全種類作った子どもや、同じものでも色や表情を変えていくつも作った子どもも多かったです。幼児、小学生のきょうだいも遊びに来て作り、夏の楽しみに変わったようでした。



おまけの1枚



7月休館日の一コマ。休館日でも職員は出勤し、さまざまな研修を行ったり、普段はできない清掃を行ったりしています。この日は、消火器や消火栓などの防火設備の使用法を確認し、実地訓練を行いました。

編集後記

SUMMER SONIC に行ってきました。本格的なフェスに行くのは初で、規模の大きさに驚きました。お目当ての歌手以外の音楽に触れたり、フェス飯を堪能したりと充実した日になりました。規模は違いますが、もりんぴあフェスティバルもいろんな演目があったり、食事があったりします。お楽しみに!! (K)

半世紀ほど昔の話。町に着いたばかりの陽気なドイツ人の青年と知り合う。同宿したユースホテルで、翌朝、彼の愛車は跡形もなく消えていた。「アルプスを越え来しハンスの自転車一夜にして盗まる。ローマ」「自転車の名は『ハンニバルの象号』スキピオの末裔これを逃すまじ」(T)

公津の杜コミュニティセンター

(指定管理者 アクティオ株式会社)

発行人: 田村 修 編集: 鹿嶋 聡明

〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地

TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353

E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: http://morinpiakozu.jp/

もりんぴあ
こうづ
Morinpia Kozu